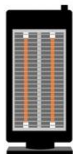


わたしの^{いち}一押し

冬の省エネ“暖房編”



26

■局所暖房を活用しませんか？■

最近出回ってきた小型遠赤外線電気ストーブはちょっとした暖房に便利でしかも省エネ

スイッチ一つの手軽さからつい頼りがちな暖房機器は、エアコン。でも部屋全体の空気が温まるには、1時間程度かかることもあります。狭い範囲や、直ぐに温まりたい、そんな時に便利でクリーンな暖房機器はないかしら？

ありました！遠赤外線電気ストーブです。ヒーターには、炭素繊維が入ったカーボンヒーターや炭素を高温処理したグラファイトヒーター等が使われています。遠赤外線は、可視光線ではないので見えませんが、皮膚の少し下まで浸透して身体の中から温める作用があります。早速使うと300Wで十分。しかも無風で心地よく、空気も汚れません。

「身体の外からの熱」と「身体の中からの発熱」というダブルの力で、かつての電気ストーブ（※）より少ない電力消費で温かくなるのです。温まったら電源OFFをお忘れなく。便利な電気ストーブも低温火傷や火事にはご用心！

※今までの主流はニクロム線ヒーターやハロゲンヒーターで、ぽかぽかする遠赤外線放出量はカーボンヒーターより少ないです。



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう

(NM)



わたし^{いち}の推し

いつでも省エネ“エコガラス”



27

■窓ガラスの省エネ性能を知る■

最近の暑さと寒さは予想外。まずは、自宅の窓ガラスの省エネ性能を確認してみませんか。

集合住宅のわが家の窓ガラスを見ると、隅にマークのようなものが見えます。気になって写真に撮り拡大すると「エコガラス」と刻印されていました。

「エコガラス」とは、一般社団法人 板硝子協会に所属する3社が製造する“Low-E複層ガラス”の呼称です。

“Low-Eガラス”とは、金属膜をコーティングしたガラスのことで、断熱効果と遮熱効果があります。

“断熱”は熱の移動を防ぐことで、冬場に部屋の熱を外に逃さない効果が期待できます。一方、“遮熱”は日射熱を反射や吸収して遮ることで、夏場の強烈な日差しによる熱が部屋の中まで侵入してくることを防ぐ効果があります。

「エコガラス」には多様な種類が販売されています。大きく分けると日射取得型と日射遮蔽型があり、設計時に地域や部屋の特성에応じて選ばれているようです。

窓ガラスに表示があるのはごく一部ですが、施工業者に確認することもできます

自宅の窓ガラスの特性を知ることは、省エネ対策を再考する第一歩です。



(FG)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう



いち
わたしの一押し



いつでも省エネ“機能性カーテン”

28 ■省エネにつながるカーテンを選ぶ■

窓まわりの対策は、省エネの重要なポイント。
機能性のあるカーテンを選ぶのもその一つです。

わが家の居間は西日が入り、昨年の夏は想定外の暑さでした。ブラインドを下し対応しましたが、さらにカーテンを付けることも検討してみました。

最近は遮熱、断熱、保温効果のあるカーテンが、いろいろ販売されています。夏は遮熱、冬は断熱や保温の機能が求められますが、これらの機能を併せ持つものもあります。一般社団法人日本インテリア協会では、機能性を表すマークを商標登録し共同化しています。マークを付けるには申請が必要で、決められた試験法に基づき判断されるとのこと。カーテン選びの指標になりそうです。

ただ、市中には、輸入製品も多く、販売店独自の基準で機能性を表示している場合もあるようです。こうした実態も踏まえ、省エネ機能最優先で選ぶことにしました。(FG)

日本インテリア協会の
機能性表示マーク（抜粋）



遮熱マーク 遮光マーク

ご自宅の毎時、毎日、毎月の



電力消費量を電力購入会社のWebページ等で
確認してみましょう

